

動物実験に関する検証結果報告書

（信州大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 25 年 3 月

平成 25 年 3 月 11 日

信州大学

学長 山沢 清人 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会

動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長



対象機関：信州大学

申請年月日：平成 24 年 6 月 27 日

訪問調査年月日：平成 24 年 11 月 20 日

調査員：片平 清昭（福島県立医科大学）

山本 博（富山大学）

検証の総評

信州大学は 8 学部からなる総合大学であるが、キャンパスが旭地区（医学部、理学部）、伊那地区（農学部）および上田地区（繊維学部）等に分散している。大学全体の動物実験委員会が設置され、旭地区および伊那地区においてそれぞれ小委員会として別々に運用されている。また、それらの全体委員会の審議には、SUNS（ユビキタスネットワーク）活用による合同会議等の工夫がされている。基本指針や関連法令、基準ならびに機関内規程に則して適正に動物実験が実施され、実験動物の飼養保管や施設の管理体制も概して良好である。自己点検・評価は他大学に率先して平成 19 年度から実施されていること、動物実験規程、関係情報や動物実験実施状況についてもホームページ上で公開していることなどは高く評価される。

伊那地区（農学部）において小規模飼養保管施設が散在し、その中でマウスやラットの飼育に関し微生物モニタリングの未実施など改善すべき点も見受けられる。感染動物実験等の安全管理に関する規則の整備についても検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に則した機関内規程として、「信州大学動物実験等実施規程」（平成 19 年 7 月 1 日施行）が制定されている。同規程の中には規程の違反者に対する措置命令を規定し（第 7 条）、実効性を高める工夫もされている。よって、機関内規程に関する自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
☐ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
平成 19 年度から基本指針に沿った動物実験委員会が設置され運用されている。平成 23 年度における委員会は 19 名の委員で構成されている。実験動物や動物実験にかかわらない委員は事務系 2 名以外に医学系および農学系の専門科目専攻教員 2 名が任命されている。よって、機関内規程に関する自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
☐ 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

大学キャンパスが旭地区（医学部、理学部）、伊那地区（農学部）および上田地区（繊維学部）に分散していることや、農学部では家畜を対象とする実験内容等もあることから、動物実験委員会は医学系と農学系の小委員会に分けて運用されている。SUNS（ユビキタスネットワーク）による合同会議が開催されているものの、小委員会間の審議内容に差異があるとの誤解を招く恐れもあることから両小委員会に共通して審議に参画する委員を指名する等、委員会の運用において工夫されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告について、「信州大学動物実験等実施規程」に規定されており、その手続きに必要な様式等も整備され、基本指針に則した動物実験の実施体制が構築されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- ☐ 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「信州大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」、「信州大学安全衛生管理規程」、「信州大学特定化学物質取扱指針」、「信州大学放射線障害予防規程」が整備されていた。ヒト環境科学研究支援センター動物実験施設には感染実験室も存在し感染実験が実施されているが、感染動物実験等の

管理体制を定めた規程や規則等が整備されていない。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、一部に改善すべき点があるとした平成 23 年度の自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 病原体の感染実験等について、安全管理を確実に実施できる体制を整備されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設は医学部に中核的飼養保管施設が設置されている他に、生命工学棟に 1 か所、農学部 に 10 か所の計 12 か所が設置されている。各施設には実験動物管理者が置かれている。これらの施設は委員会による調査と助言を受けて学長が承認する制度となっており、基本指針や実験動物飼養保管基準に則した管理体制が整備されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見 特になし。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の調査、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程である「動物実験等実施規程」に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の立案、審査が行われ、平成 23 年度には 84 件の計画が承認されている。これらの実施報告について状況把握が適切に実施されていることから、機関による自己点検・評価結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は行われていない
2) 自己点検・評価の妥当性
「遺伝子組換え実験等安全管理規程」、「安全衛生管理規程」、「特定化学物質取扱指針」、「放射線障害予防規程」を整備したうえで、適正に動物実験が実施されている。一方、感染動物実験が実施されているが、管理体制を定めた規程や規則等が未整備の部分も見受けられる。よって、自己点検・評価結果は、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とすべきである。
3) 検証の結果
☐ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は行われていない
4) 改善に向けた意見
感染動物実験については、安全管理を確実に実施できる体制を整備したうえで実施されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
中核的な飼養保管施設であるヒト環境科学研究支援センター動物実験部門においては、関連資格や豊富な経験を有する実験動物管理者をはじめとする教職員により、飼養保管手順書に基づき適正かつ模範的な実験動物の飼養保管が実施されている。一方で、農学部7か所の小規模飼養保管施設でマウスやラットが飼育されているものの、微生物モニタリング検査が実施されていない状況も見受けられる。よって、一部に改善すべき点があると考えられる。
3) 検証の結果
☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

農学部における小規模飼養保管施設に関し、個別の飼養保管手順書等についても整備し、マウスやラットについては適宜微生物モニタリング検査の導入を図る必要がある。また、すべての飼養保管施設において緊急連絡網の明確な表示を検討されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

旭地区（医学部、理学部）において多数の実験室をヒト環境科学研究支援センター動物実験部門（飼養保管施設 1 施設）内に配置し限定していることは評価できる。空調機等点検記録簿・報告書（日報）、飼育動物数及び飼育管理の記録簿（日報）、飼養保管施設の飼育環境の記録簿（日報）等から、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

農学部の小規模な飼養保管施設の中には、実験動物の飼養保管施設としての空調設備はなく、実験室を飼養保管施設に転用した状況と考えられる。これらの飼養保管施設の環境条件、飼育水準の向上と感染防御の観点から飼育器材類の洗浄・滅菌設備の整備や工夫を勧める。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会の主催による教育訓練講習会が行われ、動物実験責任者、動物実験実施者および飼養者に受講が義務づけられ、教育訓練実施状況（開催日、受講者氏名の記録）を管理する専任事務担当者が配置されている。なかでも、動物実験の初心者を対象とした技術研修は評価できる。よって、教育訓練について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 19 年度から自己点検・評価が実施され、動物実験委員会において改善事項を検討し、適切に対処している。また、自己点検・評価結果は信州大学動物実験部門ホームページに掲載され、広く一般に公開されている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

情報公開については、信州大学ホームページのトップページに全学の公開情報が掲示されていることから、動物実験に関する情報についてもこの部分にあわせて掲載するほうが外部からわかりやすいと思われる。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

特になし。